Panasonic®

系統連系申請参考資料
（関西電力様向け）

5.5kWﾊﾟﾜｰｺﾝﾃﾞｨｼｮﾅ用
型名：　VBPC355A2
品番：　VBPC355A2

系統連系申請参考資料には、申請書類に必要な資料と
申請書に記入頂く参考記入例が入っています。
参考記入例の電力申請資料は、お取寄せ頂いた
電力申請資料と書式が異なる場合がありますが
同様の記入項目に記載例を基に記入ください。
系統連系申請書類につきましては電力会社様より
申請者の方が必ず原本を入手頂きますようお願い致します。

パナソニック株式会社　エナジー商品営業企画部　’14.12.18

系統連系添付資料
（コピーにて使用）

26JET第269号
平成26年3月17日

小型分散型発電システム用系統連系装置
認　証　証　明　書

一般財団法人電気安全環境研究所(JET)
理事長　薦田　康久

2013年8月5日付け（受付番号P13-392号）で認証の申込みのありました下記の製品は、小型分散型発電システム用系統連系装置等のJET認証業務規程に基づく検査の結果、第7条の認証の要件に適合していると認められるので、認証します。

記

認証取得者
住　所：大阪府門真市大字門真1048番地
氏　名：パナソニック株式会社　エコソリューションズ社

認証製品を製造する工場
住　所：三重県津市藤方1668番地
工場名：パナソニック エコソリューションズ電材三重株式会社　本社工場

認証登録番号：MP-0055
認証登録年月日：平成26年3月17日
有効期限：平成31年3月16日
試験成績書の番号：第14TR-RC0096号
製品の型名等
認証モデルの名称：マルチストリング型パワーコンディショナ 5.5kW
認証モデルの用途：多数台連系対応型太陽電池発電システム用
認証モデルの型名：VBPC355A2

認証モデルの仕様
1)連系対象電路の電気方式等
a．電気方式：単相2線式（ただし、系統との接続は単相3線式）
b．電　　圧：202V
c．周波数：50Hz／60Hz
2)最大出力、運転力率
a．最大出力：5.5kW
b．運転力率：0.95以上
3)系統電圧制御方式：電圧型電流制御方式
4)連系保護機能の種類
a．逆潮流の有無：有
(逆電力機能の有無)：無
b．単独運転防止機能
(a)能動的方式：ステップ注入付周波数フィードバック方式
(b)受動的方式：電圧位相跳躍検出方式
c．直流分流出防止機能：有
d．電圧上昇抑制機能：有効電力抑制方式
5)保護機能の整定範囲及び整定値：裏面に記載
6)a．適合する直流入力電圧範囲：70V～380V
b．適合する直流入力数：5
7)自立運転の有無：有
8)ソフトウェア管理番号：CPU:VBPC355A2-C6.2, DSP:VBPC355A2-D6.8

特記事項：なし

(裏面に続く)

認証登録番号：MP-0055

（保護機能の整定範囲及び整定値（整定値は、認証試験時の整定値です。））

保護機能の仕様及び整定値

保護機能		整定値
交流過電流 ACOC	検出レベル	34.3Arms
	検出時限	0.5秒以下
直流過電圧 DCOVR	検出レベル	400V
	検出時限	0.5秒以下
直流不足電圧 DCUVR	検出レベル	50V
	検出時限	0.5秒以下
直流分流出検出	検出レベル	275mA
	検出時限	0.5秒以下

保護リレーの仕様及び整定値

保護リレー			整定値	整定範囲
交流過電圧 OVR	検出レベル		115V	110V, 112.5V, 115V, 117.5V, 120V
	検出時限		1.0秒	0.5秒, 1.0秒, 1.5秒, 2.0秒
交流不足電圧 UVR	検出レベル		80V	80V, 82.5V, 85V, 87.5V, 90V
	検出時限		1.0秒	0.5秒, 1.0秒, 1.5秒, 2.0秒
周波数上昇 OFR	検出レベル	50Hz	51.0Hz	50.5Hz, 51.0Hz, 51.5Hz, 52.0Hz
		60Hz	61.0Hz	60.5Hz, 61.0Hz, 61.5Hz, 62.0Hz
	検出時限		1.0秒	0.5秒, 1.0秒, 1.5秒, 2.0秒
周波数低下 UFR	検出レベル	50Hz	47.5Hz	49.5Hz, 49.0Hz, 48.5Hz, 48.0Hz, 47.5Hz, 47.0Hz
		60Hz	58.5Hz	59.5Hz, 59.0Hz, 58.5Hz, 58.0Hz, 57.5Hz, 57.0Hz
	検出時限		1.0秒	0.5秒, 1.0秒, 1.5秒, 2.0秒
逆電力 RPR	検出レベル		---	
	検出時限		---	
復電後一定時間の遮断装置投入阻止			300秒	1秒, 5秒, 150秒, 300秒
電圧上昇抑制機能	有効電力抑制		109V	107V, 107.5V, 108V, 108.5V, 109V, 109.5V, 110V, 110.5V, 111V, 111.5V, 112V, 112.5V, 113V

単独運転検出機能の仕様及び整定値

検出方式			申請整定値	整定範囲
受動的方式	電圧位相跳躍検出方式	検出レベル	5°	3°, 5°, 7°, 10°
		検出時限	0.5秒以下	固定
		保持時限	ー	固定
能動的方式	ステップ注入付周波数フィードバック方式	検出レベル	ー	ー
		検出要素	周波数変動	ー
		解列時限	瞬時	固定

速断用（瞬時）過電圧の整定値

保護リレー		申請整定値
瞬時交流過電圧	検出レベル	125V
	検出時限	1.0秒

商　品　仕　様　書

商品名：住宅用太陽光発電システム
マルチストリング型パワーコンディショナ 5．5kW（多数台連系対応）

品番　：VBPC355A2

制定日：　2014年4月25日

承認	和田	評価	村田	設計	杉本	改	

商品仕様書

1. 適用範囲

本仕様書は住宅用の太陽光発電システムに使用する「マルチストリング型パワーコンディショナ 5.5kW（多数台連系対応）」について適用する。

2. 商品概要

本製品は太陽光発電システムとして設計・製作されたもので、インバータ及び系統との保護協調を行う保護装置より構成されている。

本製品は太陽電池を電源として5系統を入力することができ、系統（商用電源）と並列に接続して動作する系統連系用発電システムである。

保護装置は太陽光発電システムとしての分散型電源を電力会社の系統と連系するために必要な技術的基準である「系統連系技術要件ガイドライン」を満足しており、系統との保護協調を考慮して、過電圧、不足電圧、周波数上昇、周波数低下、電圧上昇抑制、及び単独運転防止の保護機能を有する。

また、装置を系統から分離することにより、自立運転インバータとして交流電源を供給する。

3. 準拠規格

・小型分散型発電ｼｽﾃﾑ用 系統連系保護装置等の試験方法通則 （JETGR0002-1-4.0(2013)）
・多数台連系対応型太陽光発電ｼｽﾃﾑ用 系統連系保護装置等の個別試験方法 （JETGR0003-4-2.0(2012)）
・太陽光発電用パワーコンディショナの効率測定方法 （JIS C 8961）

4. 取得認証

・JET認証　「小型分散型発電システム用系統連系装置」
認証登録番号　:MP－0055
認証モデルの名称:マルチストリング型パワーコンディショナ 5.5kW
認証モデルの用途:多数台連系対応型太陽電池発電システム用
認証モデルの型名:VBPC355A2

品番	VBPC355A2	品名	住宅用太陽光発電システム マルチストリング型パワーコンディショナ 5．5kW （多数台連系対応）	改	

5. 機能概略

【連系運転】
太陽光発電により得られた直流電力を交流電力に変換し、その電力は負荷電力に使用、または余剰分を売電することができる。

【自立運転】
停電時は系統電源から切り離し、自立運転により太陽光発電の直流電力を交流電力に変換し、自立運転用コンセントから電力供給ができる。

6. 一般条件

6－1. 周囲条件

設置場所	屋内
使用温度範囲	-10℃～40℃（直射日光が当たらないこと）
使用湿度範囲	0～90%RH（ただし結露なきこと）
耐久気圧	標高2000m以下

6－2. 設置条件

次のような場所への設置および接続は行わないこと。

・当社太陽光発電システム標準モジュール以外への接続。
・塩害地域（潮風にさらされる場所）。
・窓際など雨のかかる場所。
・洗面所や脱衣所、台所のような著しく湿度の高い場所（90 %以下のこと）。
・換気の悪い場所や夏場温度が著しく上昇する場所（屋根裏、納戸、押入れなど）。
・指定の取付スペースを確保できない場所。（下図参照）
・2台以上が上下になる設置。
・過度の水蒸気、油蒸気、煙、塵埃、塩分、腐食性物質、爆発性／可燃性ガス・化学薬品・火気にさらされる場所およびさらされるおそれのある場所。
・温度変化の激しい場所（結露のある場所）。
・騒音について厳しい制約を受ける場所。
・振動または衝撃を受ける場所。
・テレビ・ラジオ・無線機のアンテナおよびアンテナ線から3m以内の場所。
・近傍に電波妨害を受けやすい設備・機器がある場所。
・アマチュア無線のアンテナが近隣にある場所。

＜取付スペース＞

7. 定格仕様と整定値

7－1. 定格仕様

項目		定格値
太陽電池入力	定格入力電圧	DC250V
	入力電圧範囲	DC70～380V（最大許容入力電圧DC380V）
	入力回路数	5回路
	定格入力電力	1.4kW／1回路　5.78kW／5回路
	最大入力電流	8A／1回路　40A／5回路
系統連系出力	定格出力電力	5.5kW
	定格出力電圧	AC202V
	定格出力電流	27.5A
	定格出力周波数	50/60Hz
	定格電力変換効率	95%（JIS C 8961による）
	出力基本波力率	95%以上（定格出力時）
	高調波電流歪率	総合5%以下、各次3%以下
	電気方式	単相二線式（単相三線式配電線に接続）
自立出力	定格出力電力	1.5kVA
	定格出力電圧	AC101±6V
	定格出力電流	15A
	定格出力周波数	50/60±1Hz
	電気方式	単相二線式
主回路方式	変換方式	連系運転時：電圧型電流制御方式 自立運転時：電圧型電圧制御方式
	スイッチング方式	正弦波PWM方式
電気的特性	絶縁抵抗	1MΩ以上（端子台と外郭）
	耐電圧	AC1500 V　1分間（端子台と外郭）
その他	系統事故時運転継続	FRT要件対応
	絶縁方式	非絶縁方式
	冷却方式	自然空冷方式
	雑音端子電圧	VCCI　クラスB（準尖頭値）
	待機時消費電力	1W以下 50Hz：11VA以下 / 60Hz：13VA以下
	運転音	35dB以下（正面1mでのAレンジ値）
	外形寸法	W620mm×H280mm×D155mm
	質量	約19.0kg

7－2.保護機能

保護機能		レベル・時限 初期値	整定範囲
交流過電圧 OVR	OVR検出レベル	115V	検出相数：2相 整定範囲：110V～120V 設定ステップ：2.5V 解列箇所：開閉器開放およびゲートブロック
	OVR検出時限	1.0秒	整定範囲：0.5秒～2.0秒 設定ステップ：0.5秒
交流不足電圧 UVR	UVR検出レベル	80V	検出相数：2相 整定範囲：80V～90V 設定ステップ：2.5V 解列箇所：開閉器開放およびゲートブロック
	UVR検出時限	1.0秒	整定範囲：0.5秒～2.0秒 設定ステップ：0.5秒
周波数上昇 OFR	OFR検出レベル	50Hz地域：51.0Hz 60Hz地域：61.0Hz	検出相数：1相 50Hz地域整定範囲：50.5Hz～52.0Hz 60Hz地域整定範囲：60.5Hz～62.0Hz 設定ステップ：0.5Hz 解列箇所：開閉器開放およびゲートブロック
	OFR検出時限	1.0秒	整定範囲：0.5秒～2.0秒 設定ステップ：0.5秒
周波数低下 UFR	UFR検出レベル	50Hz地域：47.5Hz 60Hz地域：58.5Hz	検出相数：1相 50Hz地域整定範囲：47.0Hz～49.5Hz 60Hz地域整定範囲：57.0Hz～59.5Hz 解列箇所：開閉器開放およびゲートブロック
	UFR検出時限	1.0秒	整定範囲：0.5秒～2.0秒 設定ステップ：0.5秒
受動的方式 単独運転検出	検出レベル	5°	検出方式：電圧位相跳躍検出方式 整定範囲：3°、5°、7°、10° 解列箇所：開閉器開放およびゲートブロック
	検出時限	0.5秒以下	整定範囲：0.5秒以下（固定）
能動的方式 単独運転検出	検出レベル	50Hz地域：0.76Hz 60Hz地域：0.91Hz	検出方式：ステップ注入付周波数フィードバック方式 検出要素：周波数 50Hz地域整定範囲：0.76Hz（固定） 60Hz地域整定範囲：0.91Hz（固定） 解列箇所：開閉器開放およびゲートブロック
	検出時限	0.2秒以下	整定範囲：0.2秒以下（固定）
保護リレー復帰時間		300秒	整定範囲：1秒、5秒、150秒、300秒
電圧上昇抑制		109V	抑制方式：有効電力抑制（定格の50%または0%へ出力制御） 整定範囲：107V～113V 設定ステップ：0.5V
交流過電流 ACOC	ACOC検出レベル	34.3Arms	整定値範囲：34.3Arms（固定） 解列箇所：開閉器開放およびゲートブロック
	ACOC検出時限	0.5秒以下	整定値範囲：0.5秒以下（固定）
直流過電圧 DCOVR	DCOVR検出レベル	400V	整定値範囲：400V（固定） 解列箇所：開閉器開放およびゲートブロック
	DCOVR検出時限	0.5秒以下	整定値範囲：0.5秒以下（固定）
直流不足電圧 DCUVR	DCUVR検出レベル	50V	整定値範囲：50V（固定） 解列箇所：開閉器開放およびゲートブロック
	DCOVR検出時限	0.5秒以下	整定値範囲：0.5秒以下（固定）
直流分流出検出	検出レベル	275mA	整定値範囲：275mA以下（固定） 解列箇所：開閉器開放およびゲートブロック
	検出時限	0.5秒以下	整定値範囲：0.5秒以下（固定）
瞬時交流過電圧	検出レベル	125V	整定値範囲：125V（固定） 解列箇所：開閉器開放およびゲートブロック
	検出時限	1.0秒以下	整定値範囲：1.0秒以下（固定）

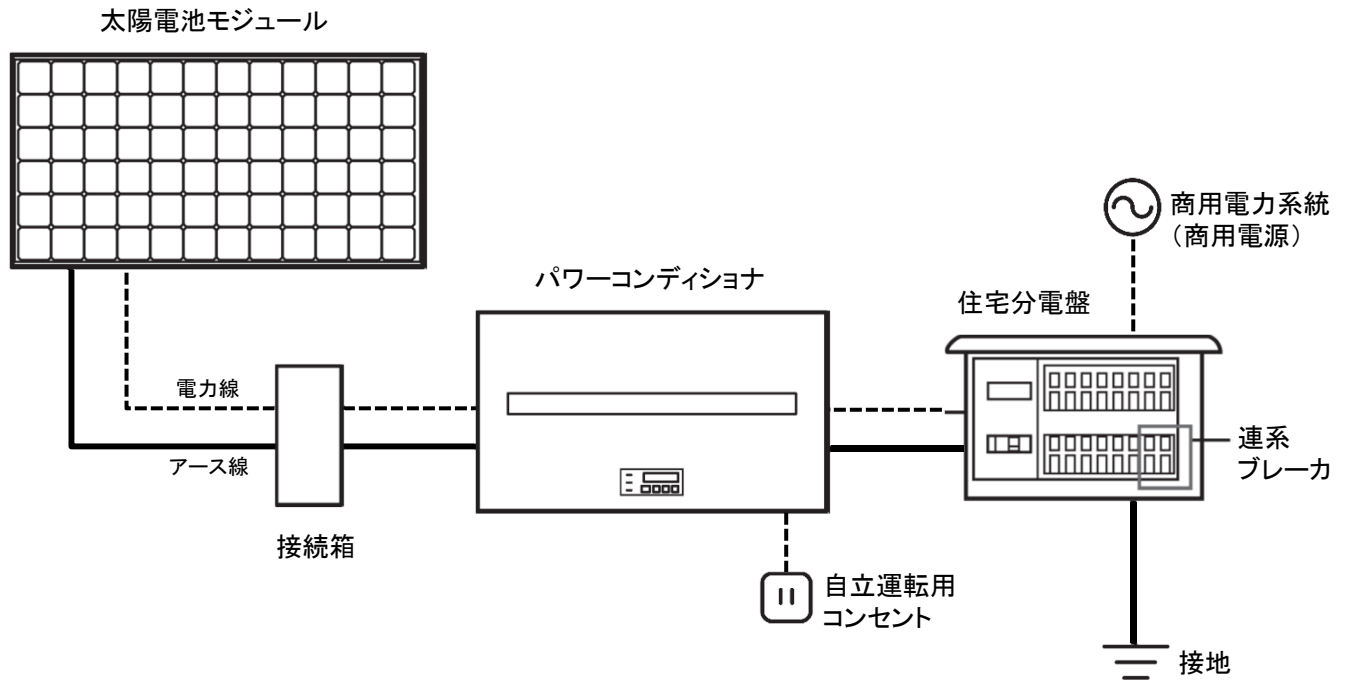
8. 使用機器

機器名	定格仕様
太陽電池入力用端子	・M5ねじ端子 ・温度ヒューズ内蔵
連系出力・自立出力・アース用端子	・M5ねじ端子 ・温度ヒューズ内蔵
自立運転用コンセント	15A

9. 付属品

部品名	個数
壁取付板	1
本体固定用ねじM5×10	1
壁固定用木ねじ4.8×25	10
取扱説明書	1
施工説明書	1
施工チェックシート	1
工事用型紙	1
出荷試験成績書	1
保証申込書類	1

10. 配線図

10－1. システム配線図

＜推奨配線＞

配線箇所	推奨線材	推奨配線長さ	推奨圧着端子（JIS規格品）
接続箱～パワーコンディショナ間	CVケーブル　2mm^2　2心	20m以内	R2-5
	CVケーブル　3.5mm^2　2心	30m以内	R5.5-5
パワーコンディショナ～分電盤間	VVケーブル　8mm^2　3心	20m以内	R8-5
	VVケーブル　14mm^2　3心	30m以内	R14-5
自立運転用	VVケーブル　2mm^2　2心	-	R2-5
	VVケーブル　φ1.6　2心		
アース線	IVケーブル　5.5mm^2　1心	-	R5.5-5

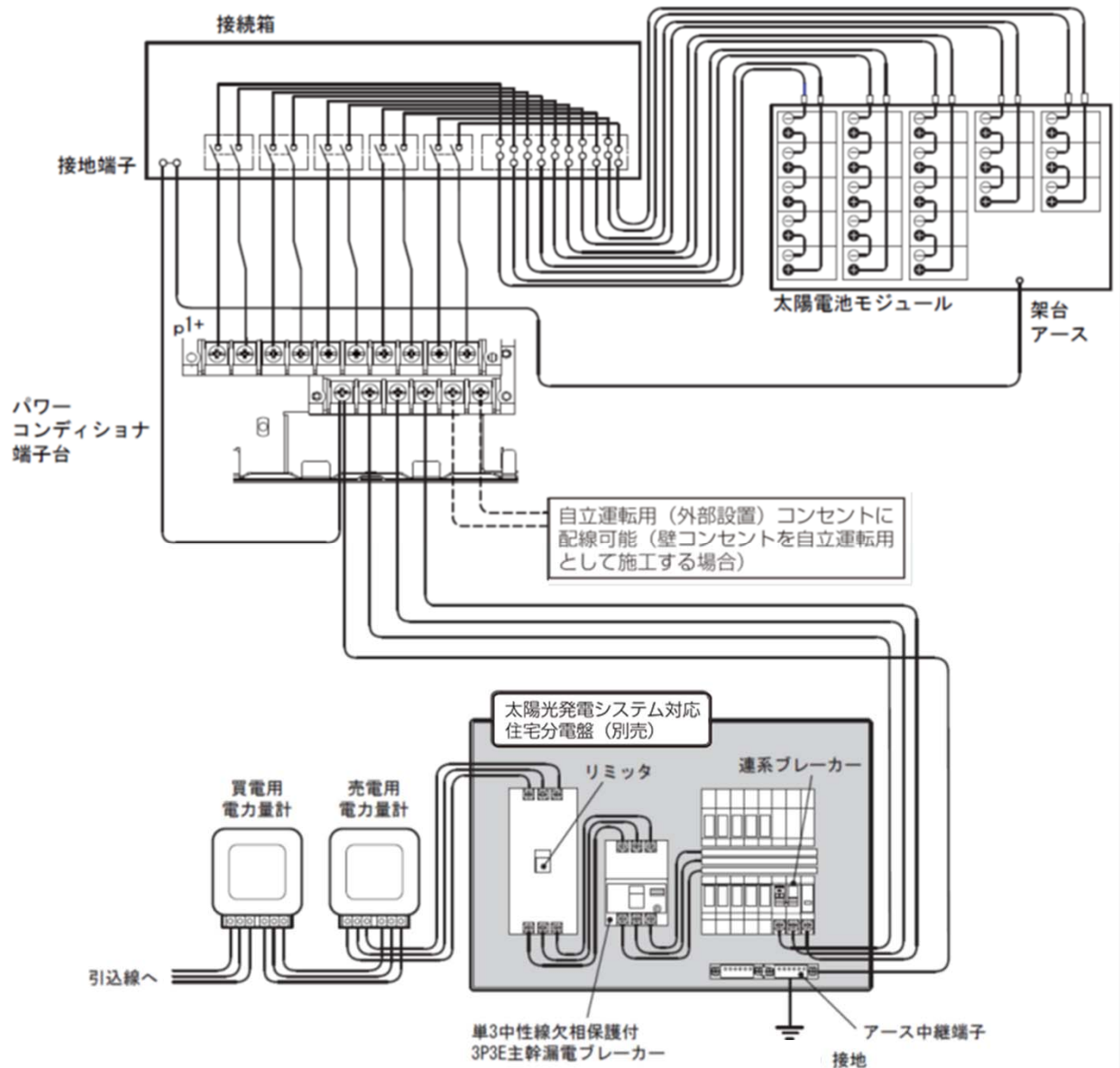
＜接地配線＞

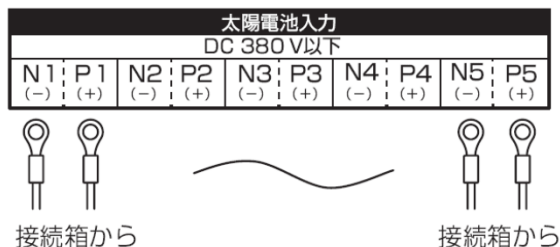
接地工事は「電気設備技術基準」や「内線規程」に従い、C種またはD種接地工事を確実に行うこと。

・C種接地工事：接地抵抗値10Ω以下
・D種接地工事：接地抵抗値100Ω以下

※太陽電池モジュール1系統の開放電圧が300Vを超える場合は、C種接地工事。ただし、C種、D種共に低圧電路において、当該電路に地絡を生じた場合に、0.5秒以内に自動的に電路を遮断する装置を施設するときは、設置抵抗値は500Ω以下。より安全性を高めるために接地抵抗値100Ω以下の接地工事を推奨。

10－2. 端子接続図

接続箱
接地端子
太陽電池モジュール
架台アース
p1+
パワーコンディショナ端子台
自立運転用（外部設置）コンセントに配線可能（壁コンセントを自立運転用として施工する場合）
太陽光発電システム対応住宅分電盤（別売）
リミッタ
連系ブレーカー
買電用電力量計
売電用電力量計
引込線へ
単3中性線欠相保護付3P3E主幹漏電ブレーカー
アース中継端子
接地

＜端子台＞

●手前10極端子台

●奥6極端子台

品番	VBPC355A2	品名	住宅用太陽光発電システム マルチストリング型パワーコンディショナ 5．5kW （多数台連系対応）	改	

11．外形寸法図

通気孔

620

155

前面パネル

46

本体

Panasonic

280

操作･表示部

15

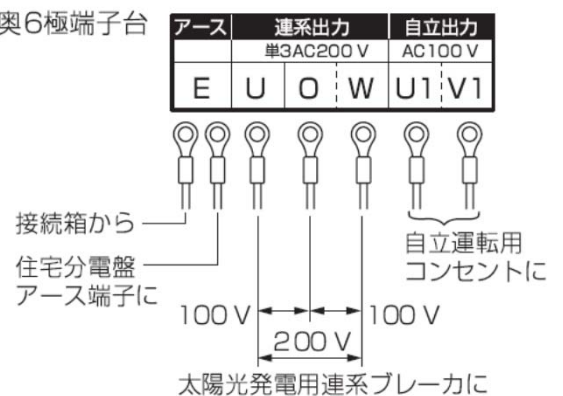
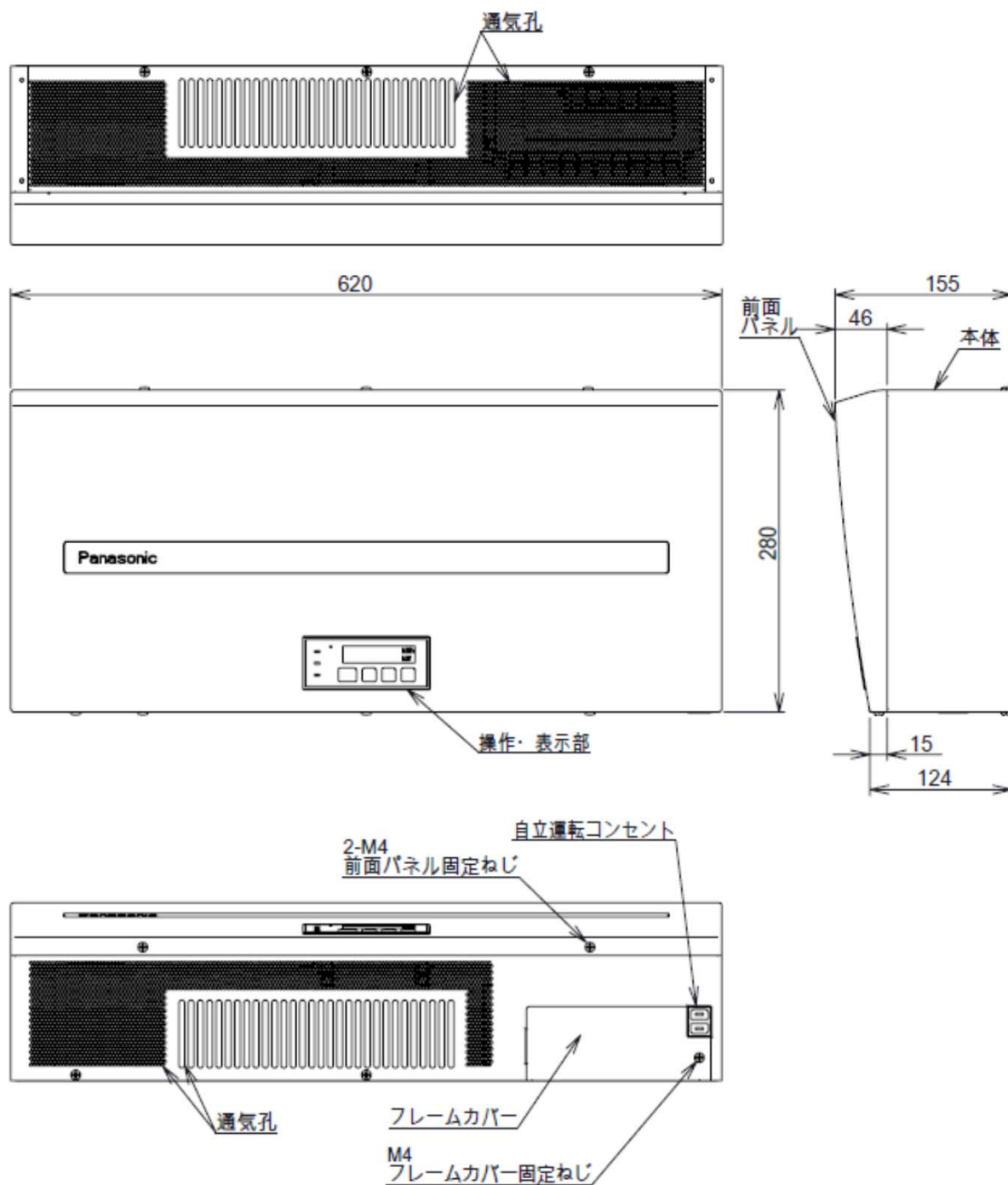
124

自立運転コンセント

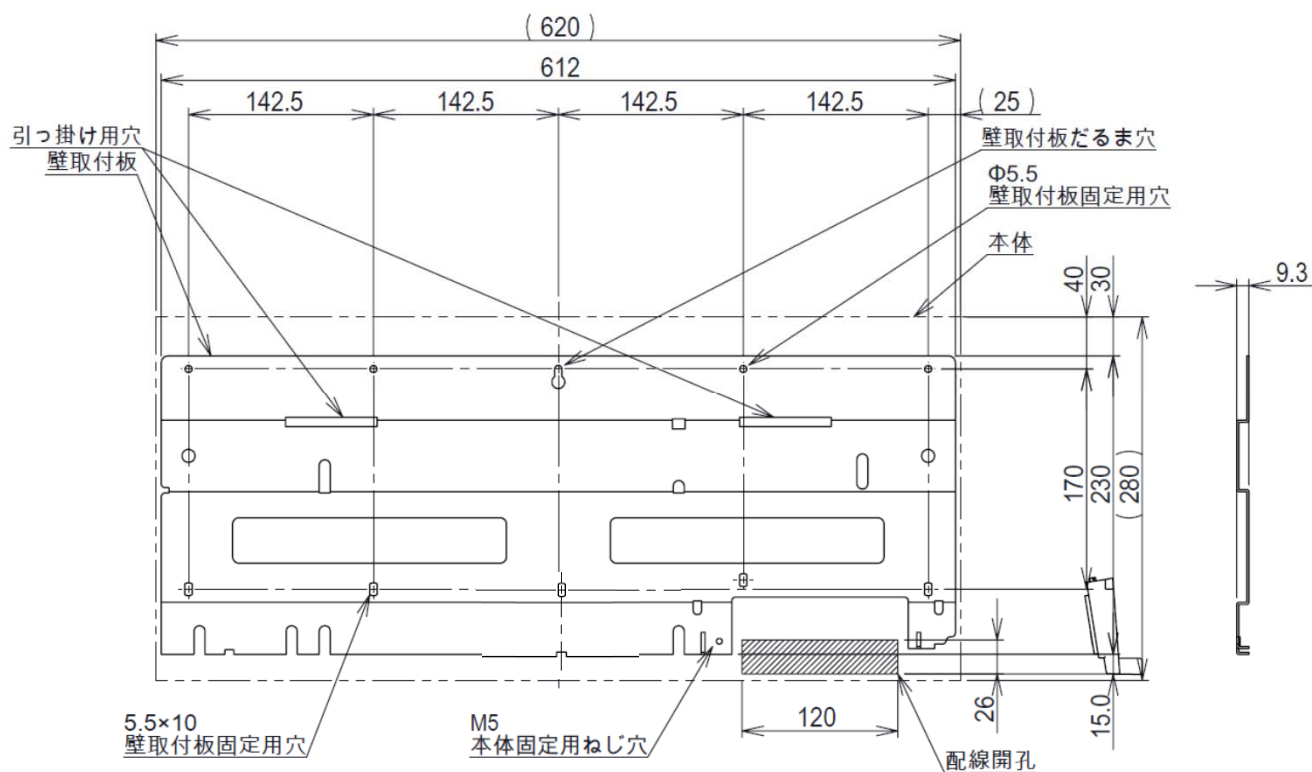
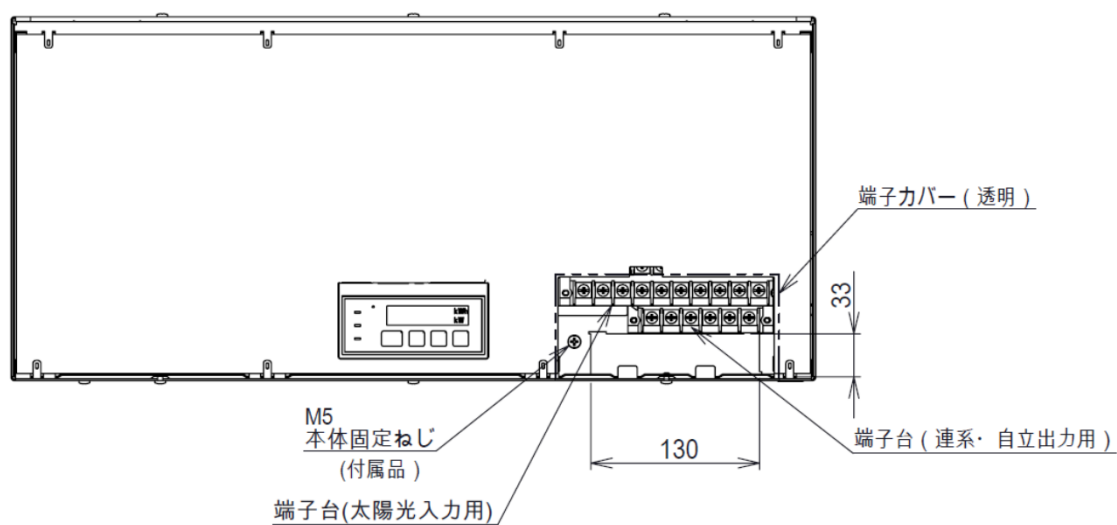
2-M4
前面パネル固定ねじ

通気孔

フレームカバー

M4
フレームカバー固定ねじ

部品名	材質	表面処理	色
本体	鋼板t1.0	塗装	ホワイト（10Y9/0.5）
前面パネル	鋼板t1.0	塗装	ホワイト（10Y9/0.5）
壁取付板	メッキ鋼板t1.6	－	－

＜取付板＞

(620)
612
142.5
142.5
142.5
142.5
(25)
引っ掛け用穴
壁取付板
壁取付板だるま穴
Φ5.5
壁取付板固定用穴
本体
9.3
40
30
170
230
(280)
5.5×10
壁取付板固定用穴
M5
本体固定用ねじ穴
120
26
15.0
配線開孔

＜前面パネル取外し後＞

12. 表示仕様

12－1. 状態表示

項目	表示	表示内容	表示部
連系運転	連系ﾗﾝﾌﾟが点灯	連系運転中	連系ﾗﾝﾌﾟ
ｶｳﾝﾄﾀﾞｳﾝ	連系ﾗﾝﾌﾟが点滅	発電が開始されるまでのｶｳﾝﾄﾀﾞｳﾝ中	
電圧上昇抑制	抑制ﾗﾝﾌﾟが点灯	電圧上昇抑制中	抑制ﾗﾝﾌﾟ
自立運転	自立ﾗﾝﾌﾟが点灯	自立運転中	自立ﾗﾝﾌﾟ
連系運転停止	-----	連系運転停止中	7ｾｸﾞﾒﾝﾄLED
連系運転待機	0.0kW （連系ﾗﾝﾌﾟが消灯）	太陽電池ﾓｼﾞｭｰﾙの発電電力が不足	
自立運転停止	--J--	自立運転停止中	
停電回復	JudEn	自立運転中に停電が回復	
自立運転待機	J-Lo	太陽電池ﾓｼﾞｭｰﾙの発電電力が不足	
時計ﾘｾｯﾄ	CLOCK	保持していた日時情報がﾘｾｯﾄ	

12－2. 計測表示

項目	表示	表示内容	表示部
発電開始ｶｳﾝﾄﾀﾞｳﾝ	0～300	発電が開始されるまでの時間（秒）	7ｾｸﾞﾒﾝﾄLED
発電電力	0.0～5.5kW （連系ﾗﾝﾌﾟまたは 自立ﾗﾝﾌﾟが点灯）	現在発電している電力	
積算電力量	0～99999kWh	総積算の電力量	
累積抑制時間	0～99999	電圧上昇抑制した累積時間（分）	

12－3. 設定表示

項目	表示	表示内容	表示部
年月日	年下1桁.月.日	年月日	7ｾｸﾞﾒﾝﾄLED
時刻	時 分	時刻	
整定値	n01～n13	各種整定値	

12－4. 異常表示

項目	表示	表示内容	表示部
系統の異常により一時的に停止	E 01～E 08	系統電圧が正常になると自動復帰	7ｾｸﾞﾒﾝﾄLED
ﾊﾟﾜｰｺﾝﾃﾞｨｼｮﾅが不安定で一時的に停止	P 01～P 29	ﾊﾟﾜｰｺﾝﾃﾞｨｼｮﾅが安定すると自動復帰	
ﾊﾟﾜｰｺﾝﾃﾞｨｼｮﾅの不安定な状態が複数回続き停止	U 11～U 39	ﾊﾟﾜｰｺﾝﾃﾞｨｼｮﾅの状態を確認し手動復帰	
ﾊﾟﾜｰｺﾝﾃﾞｨｼｮﾅの故障	F 01～F 04	修理が必要な故障	

商品仕様書

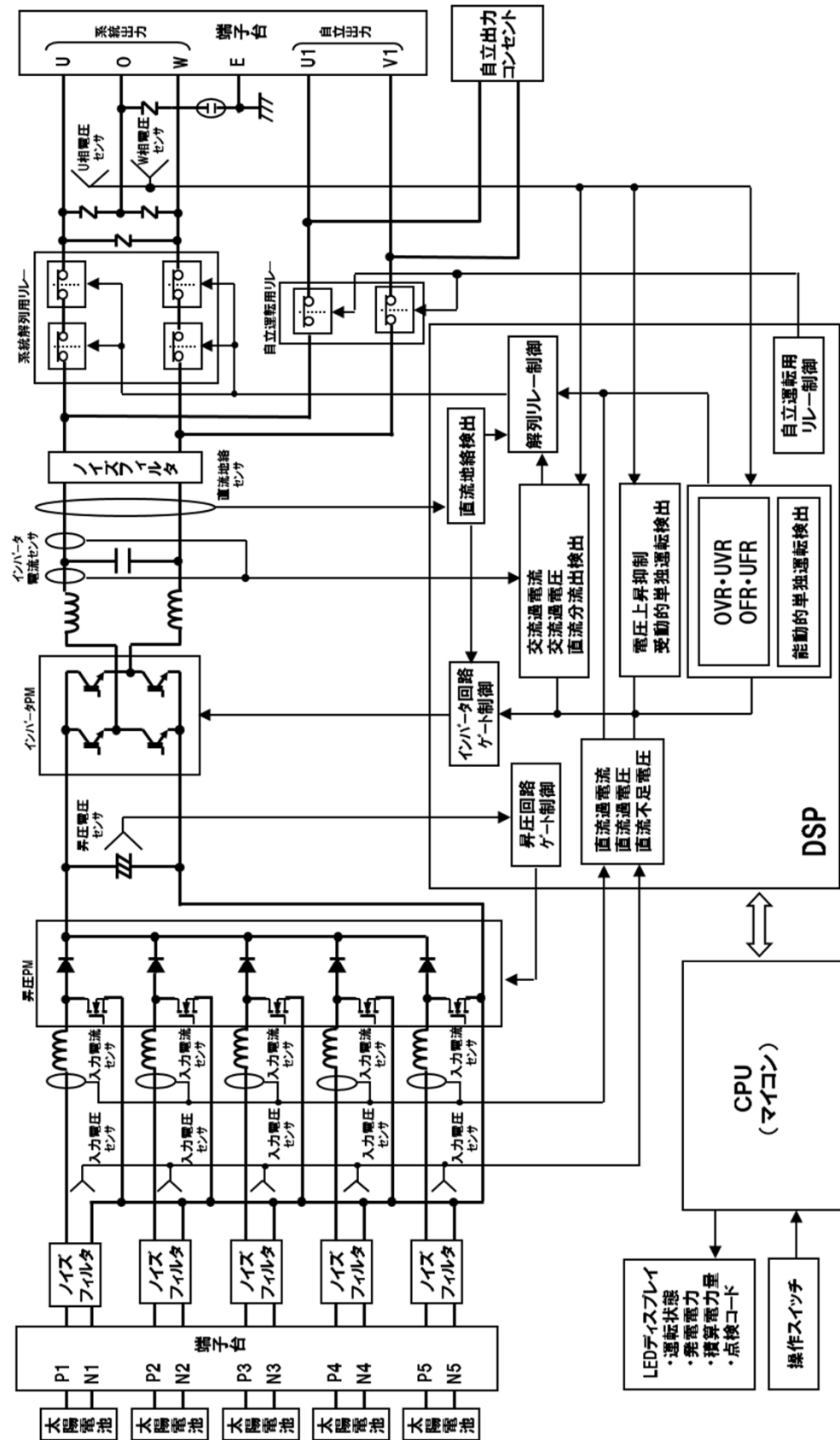
13. 定格銘板

Panasonic

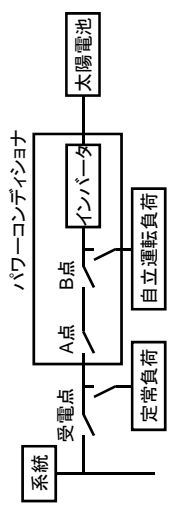
住宅用太陽光発電システム
マルチストリング型パワーコンディショナ 5.5kW
(多数台連系対応)
品番 VBPC355A2

使用入力電圧範囲	DC 70 ～ 380 V
最大許容入力電圧	DC 380 V
定格出力	5.5 kW
定格出力電圧	単相 202 V
定格出力電流	27.5 A
定格周波数	50/60 Hz
定格力率	95.0 %
質量	19.0 kg
製造年	
製造番号	

パナソニック株式会社
Made in Japan

品番	VBPC355A2	品名	住宅用太陽光発電システム マルチストリング型パワーコンディショナ 5．5kW (多数台連系対応)	改	

14. 主回路構成図

端子台
系統出力
U　O　W　E
自立出力
U1　V1
自立出力コンセント
U相電圧センサ
W相電圧センサ
系統解列用リレー
自立運転用リレー
ノイズフィルタ
直流地絡センサ
インバータ電流センサ
インバータPM
昇圧電圧センサ
昇圧PM
入力電流センサ
入力電圧センサ
ノイズフィルタ
端子台
P1　N1　P2　N2　P3　N3　P4　N4　P5　N5
太陽電池
直流地絡検出
解列リレー制御
自立運転用リレー制御
交流過電流
交流過電圧
直流分流出検出
電圧上昇抑制
受動的単独運転検出
OVR・UVR
OFR・UFR
能動的単独運転検出
インバータ回路ゲート制御
昇圧回路ゲート制御
直流過電流
直流過電圧
直流不足電圧
DSP
CPU
（マイコン）
LEDディスプレイ
・運転状態
・発電電力
・積算電力量
・点検コード
操作スイッチ

品番	VBPC355A2	品名	住宅用太陽光発電システム マルチストリング型パワーコンディショナ 5．5kW （多数台連系対応）	改	

15. 系統連系保護協調チェックリスト

＜系統連系保護協調チェックリスト 1／2＞

項目	ガイドラインに基づく基本的考え方	VBPC355A2の仕様	適否
1. 電気方式	原則として、連系する系統の電気方式と同一とする。 但し、単相3線式の系統に単相2線式200Vの発電設備を連系する場合は、中性線に対する両側の電圧を監視する2相のOVR(標準整定値120V)を設置する。	連系側電気方式　単相3線式 出力側電気方式　単相2線式200V ただし、2相のOVR(出荷時整定値115V)を系統連系保護機能として内蔵	適
2. 力率	原則として、受電点における力率は85%以上とするとともに、電圧上昇を抑制するために、系統側から見て進み力率とならないようにする。ただし、低圧配電線との連系の場合には、発電設備の力率を95%以上とすれば良い。	定格出力　5.5kW 基本波力率　95%以上 無効電力制御　なし	適
3. 保護装置の設置	系統連系保護装置として以下の保護継電器を設置する。 (1)発電設備の故障 ①過電圧継電器(OVR) ②不足電圧継電器(UVR) (2)電力系統短絡事故 ①不足電圧継電器(UVR) (3)単独運転防止 ①周波数上昇継電器(OFR) ②周波数低下継電器(UFR) ③単独運転検出機能 受動的方式及び能動的方式のそれぞれ一方式以上を含む	発電設備自体の保護装置により検出・保護を行う。 (1)発電設備の故障 ①過電圧継電器(OVR)　あり ②不足電圧継電器(UVR)　あり (2)電力系統短絡事故 ①不足電圧継電器(UVR)　(1)の②と兼用 (3)単独運転防止 ①周波数上昇継電器(OFR)　あり ②周波数低下継電器(UFR)　あり ③単独運転検出機能 受動的方式　電圧位相跳躍検出方式 能動的方式　ｽﾃｯﾌﾟ注入付周波数ﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方式	適
4. 保護継電器の設置場所	保護継電器は受電端又は故障の検出が可能な場所に設置する。	発電設備に内蔵(認証品)	適
5. 解列箇所	(1)連系運転 解列は機械的な開閉箇所2箇所又は機械的な開閉箇所1箇所及び逆変換装置のゲートブロック等により行うこととする。ただし、単独運転検出機能の受動的方式動作時は、不要動作防止のため逆変換装置のゲートブロックのみとすることができる。 (2)自立運転 解列は次のいずれかにより行うこととする。 ア. 機械的な開閉箇所2箇所、又は、機械的な開閉箇所1箇所及び手動操作による開閉箇所1箇所 イ. 機械的な開閉箇所1箇所とともに、次の全ての機構 (ア)系統停止時に誤投入防止機構 (イ)機械的開閉箇所故障時の自立運転移行阻止機能 (ウ)連系復帰時の非同期投入防止機能	(1)連系運転 A点、B点で解列(ゲートブロック併用) (2)自立運転 A点、B点で解列(ア. の機械的開閉箇所2箇所) 	適
6. 解列用遮断装置の種類	解列用遮断装置は、電路を機械的に切離し、電気的にも完全な絶縁状態を維持する。	解列箇所A点、B点 ① メーカー　富士通コンポーネント株式会社 ② 形式　FTR－K3AB024W-PV ③ 定格電流　32A(a接点)	適

＜系統連系保護協調チェックリスト 2／2＞

項目	ガイドラインに基づく基本的考え方	VBPC355A2の仕様	適否
7. 解列用遮断装置の インターロック	解列用遮断装置は、系統が停止中及び復電後の一定時間には、安全確保のため投入を阻止するように施設し、発電設備が系統へ連系できない機構とする。	系統停止中の遮断装置投入阻止機能　あり 復電後一定時間の遮断装置投入阻止機能　あり 遮断装置投入阻止時間　300秒 （整定値 1、5、150、300秒）	適
8. 保護継電器の設置相数	(1)電気方式に関わらず、周波数上昇継電器、周波数低下継電器は一相設置とする。 (2)電気方式が単相3線式の場合、過電圧継電器、不足電圧継電器は二相（中性線と両電圧線間）設置とする。	(1)周波数上昇継電器、周波数低下継電器　一相設置 (2)過電圧継電器、不足電圧継電器　二相設置 （中性線と両電圧線間）	適
9. 変圧器	逆変換装置から直流が系統へ流出することを防止するために、変圧器を設置するものとする。ただし、次の条件を共に満たす場合には変圧器の設置を省略することができる。 ①直流回路が非接地である場合、又は高周波変圧器を用いる場合。 ②交流出力側に直流検出器を備え、直流検出時に交流出力を停止する機能を持たせる場合	変圧器の設置　なし ①直流回路　非接地 ②直流検出器設置　直流レベル 275mA以下 （定格出力電流27.5Aの1%以下） 検出時限 0.5秒以下	適
10. 電圧変動	逆変換装置を用いた発電設備を用いる場合であって、発電設備からの逆潮流により低圧需要家電圧が適正値（101±6V,202±20V）を逸脱するおそれがあるときは、発電設備の設置者において、進相無効電力制御機能又は出力制御機能により自動的に電圧を調整する対策を行うものとする。	電圧自動調整機能　あり 方式　有効電力抑制方式 （出力制御機能）	適
11. 電圧同期	自励式の逆変換装置を用いる場合には、自動的に同期がとれる機能を有するものを用いる。	逆変換装置　自励式 自動同期機能　あり	適

受電設備構成（太陽光発電システム単線結線図）

〔連系ブレーカ内蔵分電盤（リミッター無）の場合〕

No	機器名称	種類	製造業者	型　名	仕　様	備　考
1	余剰電力用計量装置	Wh			A 有効期限（　　年　　月）	
2	漏電遮断器	ELCB			P　E　A　mA　秒以内 OC付き　　有	
3	配線用遮断器	MCCB			P　E　A	
4	電磁開閉器	MgCtt	富士通 コンポーネント(株)	FTR-K3AB024W-PV	AC 250V 32A	VBPC355A2内蔵

受電設備構成（太陽光発電システム単線結線図）

〔主幹ブレーカ1次側連系ブレーカ接続（リミッター無）の場合〕

No	機器名称	種類	製造業者	型　名	仕　様	備　考
1	余剰電力用計量装置	Wh			A 有効期限（　　年　　月）	
2	漏電遮断器	ELCB			P　E　A　mA　秒以内 OC付き　　有	
3	配線用遮断器	ELCB			P　E　A	
4	電磁開閉器	MgCtt	富士通コンポーネント(株)	FTR-K3AB024W-PV	AC 250V 32A	VBPC355A2内蔵

受電設備構成（太陽光発電システム単線結線図）
〔連系ブレーカ内蔵分電盤（リミッター有）の場合〕

No	機器名称	種類	製造業者	型 名	仕 様	備 考
1	余剰電力用計量装置	Wh			A 有効期限（ 年 月）	
2	漏電遮断器	ELCB			P E A mA 秒以内 OC付き 有	
3	配線用遮断器	MCCB			P E A	
4	電磁開閉器	MgCtt	富士通 ｺﾝﾎﾟｰﾈﾝﾄ㈱	FTR-K3AB024W-PV	AC 250V 32A	VBPC355A2内蔵

受電設備構成（太陽光発電システム単線結線図）
〔主幹ブレーカ1次側連系ブレーカ接続（リミッター有）の場合〕

No	機器名称	種類	製造業者	型 名	仕 様	備 考
1	余剰電力用計量装置	Wh			A 有効期限（ 年 月）	
2	漏電遮断器	ELCB			P E A mA 秒以内 OC付き 有	
3	配線用遮断器	ELCB			P E A	
4	電磁開閉器	MgCtt	富士通 コンポーネント(株)	FTR-K3AB024W-PV	AC 250V 32A	VBPC355A2内蔵

系統連系申請書類
記入参考例

○ご契約を開始・廃止される場合、また再生可能エネルギー発電設備を増減設される場合

＜ＪＥＴ認証品の場合（※）＞

（※）財団法人電気安全環境研究所の認証試験に適合している場合

	様式	ＰＤＦ版	エクセル版	記入例	備　考	
電力購入契約書兼 系統連系に関する申込書	定型	[157.79KB]	[67.0KB]	[280.9KB]		
（申込書別紙）追加設備情報	定型	[23.3KB]	[27.0KB]	－	インバータが３台以上ある場合、３台目以降の設備情報ご記入ください。	
単線結線図	任意	－	－	－		
付近見取図（平面図）	任意	－	－	－	10kW未満の太陽光以外の発電設備につきましては、平面図の提出が必要です。	
保護継電器整定値一覧表	定型	[75.5KB]	[32.5KB]	[86.37KB]	当社の標準整定値はこちら　[45.5KB] 本様式以外では受付できません。	
認証証明書（写）	任意	－	－	－	メーカー発行の認証証明書の写しを添付してください。	
設備認定通知書（写）	任意	－	－	－	国の発行する設備認定通知書の写しを添付してください。	
屋内配線の電圧上昇値簡易計算書 ※いずれか１つの様式をご使用のうえ提出願います。	定型	－	[50.5KB]	[109.26KB]	ＰＣＳ１台用	計算ツールをご使用される場合
		－	[123.5KB]	[173.13KB]	ＰＣＳ多数台用	
		[87.97KB]	－	[106.19KB]	ＰＣＳ１台用	手書きの場合
		[144.7KB]	－	[166.92KB]	ＰＣＳ多数台用	
電力受給契約のご案内の送付依頼書	定型	[78.43KB]	－	－	「電力受給契約のご案内」送付先がご契約者様または申込代行者以外をご希望される場合	
その他必要資料	任意	－	－	－	複数台連系試験成績書等、必要に応じて当社から提出を依頼させていただきます。	

※屋内配線の電圧上昇簡易計算書は平成25年12月からお申込時に必ず必要となります。

※屋内配線工事を伴う場合、別途、低圧電気申込書及び施工証明書が必要となります。

※再生可能エネルギー発電設備に変更がある場合は、都度申込書の提出が必要になります。

※自家発電設備の設置、撤去についても申込書の提出が必要になります。

※低圧のＪＥＴ認証品以外で必要となる帳票類は、お近くの関西電力までお問い合わせください。

電力購入契約申込書　兼　系統連系に関する申込書（低圧）記入例

下記の事例を参考に申込書を記載し、添付書類を添えて、弊社まで提出をお願いします。なお、提出いただいた申込書類に不備があれば受領できないことがありますので、あらかじめご了承ください。

表

関西電力株式会社　宛

No.

❶ 平成 26 年 3 月 3 日

電力購入契約申込書　兼　系統連系に関する申込書（低圧）

「再生可能エネルギー発電からの電力購入契約要綱」および裏面の「個人情報の取扱い」を承認のうえ、再生可能エネルギー発電設備（以下「再エネ発電設備」という。）の関西電力株式会社（以下「関西電力」という。）の電力系統への連系（連系解除）および関西電力による電力の買取り（買取り終了）を関西電力に申し込みます。なお、当該再エネ発電設備の関西電力の電力系統への連系から関西電力による電力の買取り開始までの期間に当該再エネ発電設備から発生する電力を関西電力が無償で受電することを承諾します。また、受付完了後に申込内容に不備（変更）がある場合、希望する計器工事日に工事できない場合や当初の申込受領日が無効となる場合があることを予め承諾します。

※ご契約者名義変更の場合は、「電力受給契約に係る名義変更申込書　兼　電力系統への発電設備の連系に関する名義変更申込書」をご使用下さい。

❶【契約基本情報】

項目	内容		
申込種別	☑新設　□設備増減設　□再使用　□設備撤去　□単価変更　□その他（　）		
❷ 契約種別	□定額電灯　☑従量電灯Ａ　□従量電灯Ｂ　□はぴｅﾀｲﾑ　□時間帯別電灯　□低圧電力　□その他（　）		
❸ 発電設備設置場所（需要場所住所）	（〒 530 － 8270 ） 大阪府大阪市北区中之島3丁目6番16号		
フリガナ	カン　デン　タ　ロウ		
❹ ご契約者名義（※1）	関電　太郎 ご契約者ご本人様にてご記入ください	（印：関電）お客さま印は必ず押印いただくようお願いいたします	
お電話番号	電話（ 06 ） 1234 － 5678	携帯	（ 090 ） 1234 － 5678
ご案内送付先（※2）	☑ 発電設備設置場所と同一（「ご案内送付先」の記入は不要） （〒　－　）		
❺ 営業者区分（※3）	☑ 営業者に該当しない	□ 営業者に該当する	
お客さま番号（新築の場合、記入不要）	日程：1 2　所：3 4　番号：1 2 3 4 5 6 7 8 9 0		
❻ 引込柱	カンデン 3W1		

※1　法人名義でご契約される場合は、法人名称、役職名・代表者氏名をご記入下さい。電力受給契約のご名義は、原則電気需給契約のご名義と同一とさせていただきます。

※2　「電力受給契約のご案内」の送付先が契約者様もしくは申込代行者以外を希望される場合は「電力受給契約のご案内の送付依頼書」が別途必要になります。

※3　営業者とは、株式会社、有限会社等の営利法人、個人商店、個人事務所等のことで、個人や学校法人、宗教法人、医療法人等の公益法人および地方自治体は該当いたしません。（住居の一部を店舗等として使用している場合は営業者に該当します。）

❷【再エネ電力供給設備情報】

□ 設備3あり ⇒ 追加設備情報（別紙）に必要事項を記入のうえ提出をお願いします。

インバータが2台ある場合は【設備2】にご記入ください。インバータが3台以上の場合は、別紙を添付してください。

同一の需要場所において2以上の設備認定がある場合は設備認定IDごとに申込願います。

設備	区分	項目	値	単位	項目	値
設備1	発電機	公称最大出力	4.392	kW	製造者	オムロン阿蘇株式会社
	ｲﾝﾊﾞｰﾀ	JET認証番号 ※認証品の場合	MP－0001		型式 ※非認証品の場合	KP55K
❼		定格出力	5.500	kW	製造者	オムロン阿蘇株式会社

設備	区分	項目	値	単位	項目	値
設備2	発電機	公称最大出力		kW	製造者	
	ｲﾝﾊﾞｰﾀ	JET認証番号 ※認証品の場合			型式 ※非認証品の場合	
		定格出力		kW	製造者	

❸【工事情報】

項目	内容	項目	内容
設置月日（予定日）	平成 26 年 3 月 5 日	連系希望日 ❽	平成 26 年 3 月 17 日
❾ 配線方法	（余剰配線）　／　全量配線（引込方法 ＝ Y分岐　・　２引込み）		

※以下は関西電力記入欄となります。PCSが新型能動方式かつ計器工事以外の工事がない場合は本申込書の写しの授受をもって受給承諾とさせていただきます。

○協議結果

□ PCSが新型能動方式かつ関西電力の工事がない場合
（内容不備がある場合は　月　日までに当社は申込代行者へ連絡いたします。連絡が無い場合は連系が可能ですので、左記の期日以降に連系いただけます。）

□ PCSが新型能動方式かつ関西電力の工事が計器工事のみ ⇒ 計器工事日　月　日まで　・　未定（後日調整させていただきます。）
（内容不備がある場合は　月　日までに当社は申込代行者へ連絡いたします。連絡が無い場合は弊社計器工事日以降に連系いただけます。）

□ PCSが従来型能動方式もしくは関西電力の工事が計器工事以外あり ⇒ 後日回答書を送付の上、別途工事日を調整させていただきます。

○受付確認　※③は太陽光10kW未満のみ記入要、④・⑤は太陽光10kW未満以外のみ記入要。

①認定通知書に記載の設備認定日：平成　年　月　日

②受給最大電力　kW　　④課税方式　：　収入金課税　・　所得課税

③併設発電設備　：　あり　・　なし　　⑤特例需要場所を適用する　・　特例需要場所を適用しない

（連絡欄）

申込受領	受給承諾
	新型かつ条件を満たせば押印

記載不要

❶ **申込日**
弊社窓口への提出日をご記入ください。

❷ **契約種別**
電気需給契約の契約種別をご記入ください。

❸ **発電設備設置場所**
区画整理等により詳細の住居表示ができない場合、付近見取図により設置場所を特定ください。

❹ **ご契約者名義**
必ずご契約者さま本人がご記入ください。なお、お客さま印の押印がない場合は、原則として受付できません。

❺ **営業者区分**
※3の記載を参考に、営業者区分をご記入ください。

❻ **引込柱**
ご記入がない場合、申込受付に時間を要することがあります。

❼ **設備情報**
インバータが3台以上ある場合は、追加設備情報（別紙）にご記入をお願いします。

「公称最大出力」・「定格出力」ともに小数点以下第3位まで記入してください。

❽ **連系希望日**
申込日直後の日程等、ご希望に添えない場合があります。

❾ **配線方法**
配線方法に関する留意点は3ページをご参照ください。

1

関西電力株式会社　宛

＜No.参考資料＞

平成　　年　　月　　日

電力購入契約申込書　兼　系統連系に関する申込書（低圧）

「再生可能エネルギー発電からの電力購入契約要綱」および裏面の「個人情報の取扱い」を承認のうえ、再生可能エネルギー発電設備（以下「再エネ発電設備」という。）の関西電力株式会社（以下「関西電力」という。）の電力系統への連系（連系解除）および関西電力による電力の買取り（買取り終了）を関西電力に申し込みます。なお、当該再エネ発電設備の関西電力の電力系統への連系から関西電力による電力の買取り開始までの期間に当該再エネ発電設備から発生する電力を関西電力が無償で受電することを承諾します。また、受付完了後に申込内容に不備（変更）がある場合、希望する計器工事日に工事できない場合や当初の申込受領日が無効となる場合があることを予め承諾します。

※ご契約者名義変更の場合は、「電力受給契約に係る名義変更申込書　兼　電力系統への発電設備の連系に関する名義変更申込書」をご使用下さい。

❶【契約基本情報】

申込種別	□新設　□設備増減設　□再使用　□設備撤去　□単価変更　□その他（　　）
契約種別	□定額電灯　□従量電灯Ａ　□従量電灯Ｂ　□はぴｅﾀｲﾑ　□時間帯別電灯　□低圧電力　□その他（　　）
発電設備設置場所（需要場所住所）	（〒　　ー　　）
フリガナ	
ご契約者名義（※1）	ご契約者ご本人様にてご記入ください　印　お客さま印は必ず押印いただくようお願いいたします
お電話番号	電話（　　）　ー　　携帯（　　）　ー
ご案内送付先（※2）	□　発電設備設置場所と同一（「ご案内送付先」の記入は不要） （〒　　ー　　）
営業者区分（※3）	□　営業者に該当しない　　□　営業者に該当する
お客さま番号（新築の場合、記入不要）	日程　所　番号
引込柱	

※1　法人名義でご契約される場合は、法人名称、役職名・代表者氏名をご記入下さい。電力受給契約のご名義は、原則電気需給契約のご名義と同一とさせていただきます。

※2　「電力受給契約のご案内」の送付先が契約者様もしくは申込代行者以外を希望される場合は「電力受給契約のご案内の送付依頼書」が別途必要になります。

※3　営業者とは、株式会社、有限会社等の営利法人、個人商店、個人事務所等のことで、個人や学校法人、宗教法人、医療法人等の公益法人および地方自治体は該当いたしません。（住居の一部を店舗等として使用している場合は営業者に該当します。）

❷【再エネ電力供給設備情報】

□ 設備3あり ⇒ 追加設備情報（別紙）に必要事項を記入のうえ提出をお願いします。

インバータが2台ある場合は【設備2】にご記入ください。インバータが3台以上の場合は、別紙を添付してください。

同一の需要場所において2以上の設備認定がある場合は設備認定IDごとに申込願います。

設備					
設備1	発電機	公称最大出力	kW	製造者	パナソニック株式会社
	ｲﾝﾊﾞｰﾀ	JET認証番号 ※認証品の場合	MP－0055	型式 ※非認証品の場合	VBPC355A2
		定格出力	5．5　kW	製造者	パナソニック エコソリューションズ電材三重　株式会社

設備					
設備2	発電機	公称最大出力	kW	製造者	
	ｲﾝﾊﾞｰﾀ	JET認証番号 ※認証品の場合		型式 ※非認証品の場合	
		定格出力	kW	製造者	

❸【工事情報】

設置月日（予定日）	平成　年　月　日	連系希望日	平成　年　月　日
配線方法	余剰配線　／　全量配線（引込方法 ＝ Y分岐 ・ ２引込み）		

※以下は関西電力記入欄となります。PCSが新型能動方式かつ計器工事以外の工事がない場合は本申込書の写しの授受をもって受給承諾とさせていただきます。

○協議結果

□ PCSが新型能動方式かつ関西電力の工事がない場合
（内容不備がある場合は　月　日までに当社は申込代行者へ連絡いたします。連絡が無い場合は連系が可能ですので、左記の期日以降に連系いただけます。）

□ PCSが新型能動方式かつ関西電力の工事が計器工事のみ ⇒ 計器工事日　月　日まで　・　未定（後日調整させていただきます。）
（内容不備がある場合は　月　日までに当社は申込代行者へ連絡いたします。連絡が無い場合は弊社計器工事日以降に連系いただけます。）

□ PCSが従来型能動方式もしくは関西電力の工事が計器工事以外あり ⇒ 後日回答書を送付の上、別途工事日を調整させていただきます。

○受付確認　※③は太陽光10kW未満のみ記入要、④・⑤は太陽光10kW未満以外のみ記入要。

①認定通知書に記載の設備認定日：平成　年　月　日

②受給最大電力　kW

③併設発電設備　：　あり　・　なし

④課税方式　：　収入金課税　・　所得課税

⑤特例需要場所を適用する　・　特例需要場所を適用しない

（連絡欄）

申込受領	受給承諾
	新型かつ条件を満たせば押印

（低圧用）保護継電器整定値一覧表

2014.4 改正

＜申込代行者情報＞

・事業者名：株式会社〇〇〇〇　（担当者名）〇〇

・住　所　：〒〇〇〇－〇〇〇〇
〇〇市〇〇町〇－〇－〇

・ＴＥＬ　：（固定）〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇　（FAX）〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇
（携帯）〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇

＜設置者情報＞

・契約者名：△△　△△

＜設置設備情報＞

・発電設備種別：太陽光発電設備

・定格出力　：5.5　ｋＶＡ　×　1　台

・保護装置（パワーコンディショナ）の認証番号または型式
：ＭＰ－〇〇〇〇

・自動電圧調整装置
進相無効電力制御機能　：　有　・　無（○）
出力制御機能　：　有（○）　・　無

・絶縁用変圧器　：　有　・　無（○）

・ＯＣ付ＥＬＣＢ　：　極数素子数（3Ｐ3Ｅ）
逆接続（可（○）・　不可　）

※　本様式は、保護装置の型式（認証番号）毎に作成願います（同一型式を複数台設置される場合は本様式１枚のみで結構です）。

1．主リレー　※太枠内ご記入ください（ただし、第三者（JET、JIA）が認証するPCSを使用する場合、①・②・③・④は省略可能です）。

保護継電器の種別		第三者（JET、JIA）が認証するPCSを使用する場合は省略可能				⑤申請整定値	当社整定値	適否	適　　用
		① 継電器製造者・型式	②　整　定　範　囲	③CT比	④VT比				
電力品質	ＯＶＲ					115　Ｖ	標準整定　115% （100V系の場合115V、200V系の場合230V）		
	ＵＶＲ					80　Ｖ	標準整定　80% （100V系の場合80V、200V系の場合160V）		
	ＯＦＲ					61.2　Ｈｚ	標準整定　61.2Hz （整定範囲に無い場合は61.0Hz）		
	ＵＦＲ					58.8　Ｈｚ	標準整定　58.8Hz （整定範囲に無い場合は59.0Hz）		
単独運転防止	ＲＰＲ					Ｗ	【逆潮流有りの場合記載不要】 標準整定　発電設備定格出力の5%程度以下		
	ＵＰＲ					Ｗ	【逆潮流有りの場合記載不要】 標準整定　最大受電電力の3%程度		２系列目のリレーに適用
	能動的方式			－	－	－	個別整定　（新型の場合記載不要）		（非認証品の場合） 取扱説明書を添付のこと
	受動的方式			－	－	0.2%	個別整定（位相跳躍方式の場合±3～±10度の範囲、周波数変化率方式の場合±0.1～±0.3%の範囲、3次高調波電圧歪急増方式の場合+1～+3%の範囲）		（非認証品の場合） 取扱説明書を添付のこと
その他	自動電圧調整機能					109　Ｖ	【逆潮流無しの場合記載不要】 個別整定　屋内配線（受電点からＰＣＳまで）による電圧上昇値の簡易計算書で計算した値		

2．タイマー　※太枠内ご記入ください（ただし、第三者（JET、JIA）が認証するPCSを使用する場合、①・②・③・④は省略可能です）。

保護継電器の種別		第三者（JET、JIA）が認証するPCSを使用する場合は省略可能				⑤申請整定値	当社整定値	適否	適　　用
		① 継電器製造者・型式	②　整　定　範　囲	③CT比	④VT比				
電力品質	ＯＶＲ					1　秒	標準整定　1.0秒		
	ＵＶＲ					1　秒	標準整定　1.0秒		
	ＯＦＲ					1　秒	標準整定　1.0秒 （0.5秒でも可）		
	ＵＦＲ					1　秒	標準整定　1.0秒 （0.5秒でも可）		
単独運転防止	ＲＰＲ					秒以内	【逆潮流有りの場合記載不要】 標準整定　0.5秒以内		
	ＵＰＲ					秒以内	【逆潮流有りの場合記載不要】 標準整定　ｹﾞｰﾄﾌﾞﾛｯｸする場合0.2秒以内、ｹﾞｰﾄﾌﾞﾛｯｸしない場合0.5秒以内		２系列目のリレーに適用
	能動的方式			－	－	0.2 秒以内	標準整定　新型の場合0.2秒以内、 従来型の場合0.5秒～1.0秒以内		（非認証品の場合） 取扱説明書を添付のこと
	受動的方式			－	－	0.5 秒以内	標準整定　0.5秒以内		（非認証品の場合） 取扱説明書を添付のこと
その他	復電後の投入阻止時間					300　秒	標準整定　300秒		

（低圧用）保護継電器整定値一覧表 ＜参考資料＞

2014.4 改正

＜申込代行者情報＞

・事業者名：　　　　（担当者名）

・住　所　：〒　　－

・ＴＥＬ　：（固定）　　（FAX）

（携帯）

＜設置者情報＞

・契約者名：

＜設置設備情報＞

・発電設備種別：太陽光発電設備

・定格出力　：5.5ｋＶＡ　×　　台

・保護装置（パワーコンディショナ）の認証番号または型式

：MP－0055

・自動電圧調整装置

進相無効電力制御機能　：　有　・　無（○）

出力制御機能　：　有（○）　・　無

・絶縁用変圧器　：　有　・　無（○）

現場で使用される機種をご記入ください →

・ＯＣ付ＥＬＣＢ　：　極数素子数（　　Ｐ　　Ｅ）

逆接続（　可　・　不可　）

※　本様式は、保護装置の型式（認証番号）毎に作成願います（同一型式を複数台設置される場合は本様式１枚のみで結構です）。

１．主リレー　※太枠内ご記入ください（ただし、第三者（JET、JIA）が認証するPCSを使用する場合、①・②・③・④は省略可能です）。

保護継電器の種別		第三者（JET、JIA）が認証するPCSを使用する場合は省略可能 ① 継電器 製造者・型式	② 整定範囲	③CT比	④VT比	⑤申請整定値	当社整定値	適否	適用
電力品質	ＯＶＲ					115 Ｖ	標準整定　115% （100V系の場合115V、200V系の場合230V）		
	ＵＶＲ					80 Ｖ	標準整定　80% （100V系の場合80V、200V系の場合160V）		
	ＯＦＲ					61.0 Ｈｚ	標準整定　61.2Hz （整定範囲に無い場合は61.0Hz）		
	ＵＦＲ					58.5 Ｈｚ	標準整定　58.8Hz （整定範囲に無い場合は59.0Hz）		
単独運転防止	ＲＰＲ					Ｗ	【逆潮流有りの場合記載不要】 標準整定　発電設備定格出力の5%程度以下		
	ＵＰＲ					Ｗ	【逆潮流有りの場合記載不要】 標準整定　最大受電電力の3%程度		２系列目のリレーに適用
	能動的方式			－	－		個別整定　（新型の場合記載不要）		（非認証品の場合） 取扱説明書を添付のこと
	受動的方式				－	5度	個別整定（位相跳躍方式の場合±3～±10度の範囲、周波数変化率方式の場合±0.1～±0.3%の範囲、3次高調波電圧歪急増方式の場合±1～±3%の範囲）		（非認証品の場合） 取扱説明書を添付のこと
その他	自動電圧調整機能					Ｖ	【逆潮流無しの場合記載不要】 個別整定　屋内配線（受電点からＰＣＳまで）による電圧上昇値の簡易計算書で計算した値		

お疲れ様です。

下記にて、週報を送付致します。

ご確認をお願い致します。

現場の整定値をご記入ください

２．タイマー　※太枠内ご記入ください（ただし、第三者（JET、JIA）が認証するPCSを使用する場合、①・②・③・④は省略可能です）。

保護継電器の種別		第三者（JET、JIA）が認証するPCSを使用する場合は省略可能 ① 継電器 製造者・型式	② 整定範囲	③CT比	④VT比	⑤申請整定値	当社整定値	適否	適用
電力品質	ＯＶＲ					1　秒	標準整定　1.0秒		
	ＵＶＲ					1　秒	標準整定　1.0秒		
	ＯＦＲ					1　秒	標準整定　1.0秒 （0.5秒でも可）		
	ＵＦＲ					1　秒	標準整定　1.0秒 （0.5秒でも可）		
単独運転防止	ＲＰＲ					秒以内	【逆潮流有りの場合記載不要】 標準整定　0.5秒以内		
	ＵＰＲ					秒以内	【逆潮流有りの場合記載不要】 標準整定　ｹﾞｰﾄﾌﾞﾛｯｸする場合0.2秒以内、ｹﾞｰﾄﾌﾞﾛｯｸしない場合0.5秒以内		２系列目のリレーに適用
	能動的方式			－	－	0．2 秒以内	標準整定　新型の場合0.2秒以内、従来型の場合0.5秒～1.0秒以内		（非認証品の場合） 取扱説明書を添付のこと
	受動的方式			－	－	0.5 秒以内	標準整定　0.5秒以内		（非認証品の場合） 取扱説明書を添付のこと
その他	復電後の投入阻止時間					300　秒	標準整定　300秒		